

◆ソニー株式会社

【設立】 昭和21年5月7日

【資本金】 8,802億1,400万円

【主な事業概要】

ゲーム&ネットワークサービス

音楽、映画、エレクトロニクス・その他事業

【売上高過去3期分(連結)】

令和3年3月期 8兆9,993億6,000万円

令和2年3月期 8兆2,598億8,500万円

平成31年3月期 8兆6,656億8,700万円

【当期経営状況】

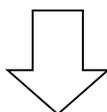
業績はコロナ禍をものともせず、売上高は、8兆9,993億円(前期比9%増)、営業利益は9,718億円(同15%増)と過去最高を更新した。純利益は、初めて1兆円を突破した。4,566億円の最終赤字に沈んだ2012年3月期から10年素晴らしい復活を遂げてきたのである。最大の要因は、過去の事業の中心である祖業のエレキ部門からゲーム・エンタメ部門に事業の軸足を移した事である。巣ごもり需要でプレイステーションのソフト販売、アニメ「劇場版「鬼滅の刃」」の大ヒットが、利益を押し上げた。今後もサブスクリプション型ビジネスとして安定的に稼ぐ戦略を一段と推進していくであろう。

ソニー

<財務状態>

流動比率 小 92.4%(標準120%)以上
固定長期適合率 小 103.2%(標準100%)以下

財務安定性 やや不安



財務センターライン右下り

自己資本比率 小 21.4%(標準40%)以上

<収益力>

収益力 優良 経費負担率 69.6%(標準90%)以下

収益効率 優良

売上高経常利益率 13.2%(標準4~5%)以上

<キャッシュフローの特徴>

利益が1兆1913億円と減価償却費3906億円と新規借入4068億円で最終キャッシュフローは、2746億円の増加となった。

固定負債約13兆円の返済が981億円に抑えられていることが大きい。

《ポイント》

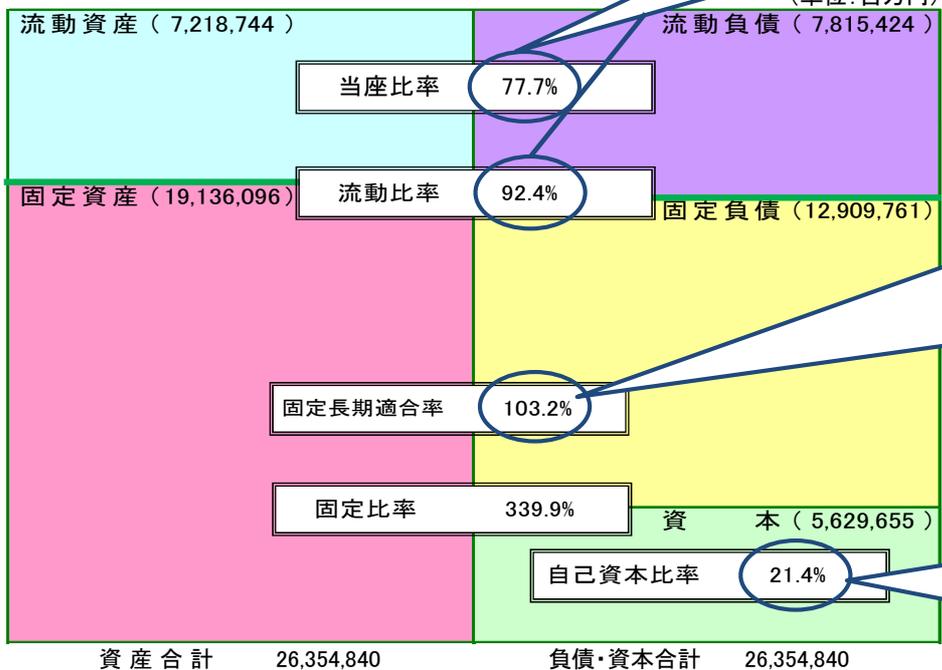
収益力も収益効率性も抜群に素晴らしいが、財務的には自己資本も少なめ(21.4%)

支払能力に不安がある

流動性比率(流動比率・当座比率)の改善に期待したい

R3/3月期

貸借対照表

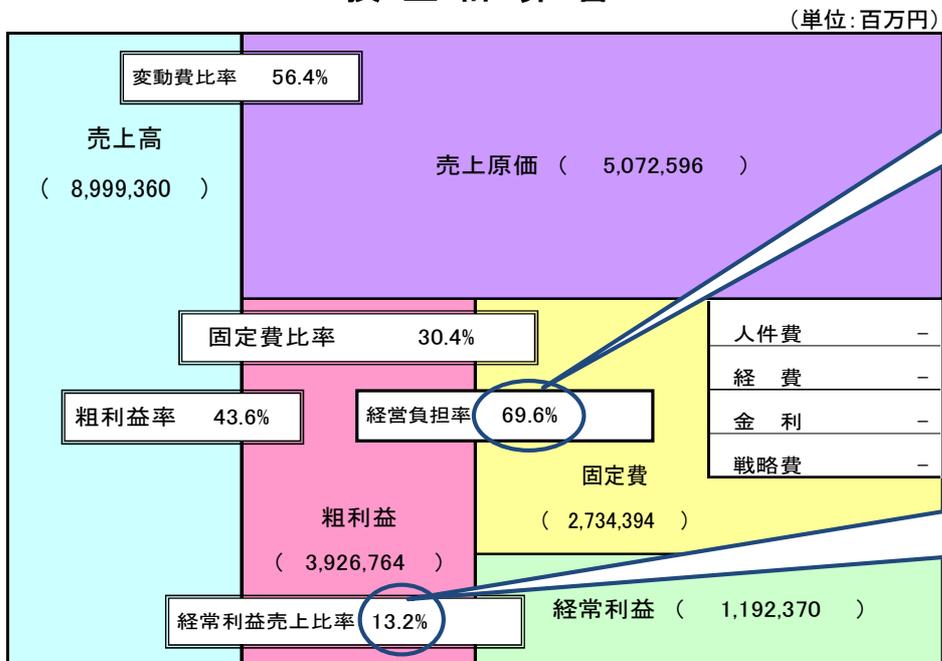


支払能力 不安
 当座比率77.7% (標準100%) 以上
 流動比率92.4% (標準120%) 以上

ここがポイント
財務安定性 やや不安
 財務センターライン やや右下がりがり
 固定長期適合率 103.2% (標準100%) 以下

健全性 不安
 自己資本比率21.4% (標準40%) 以上

損益計算書



収益力 優良
 経営負担率 69.6% (標準 90%) 以下

収益効率性 優良
 経常利益売上比率 13.2% (標準4~5%) 以上

～キャッシュフロー計算書～

期間 R2年 4月 1日 ～ R3年 3月 末日

(単位 百万円)

I 営業活動によるキャッシュフロー

	マイナス(-)	プラス(+)
当期純利益		(+1,191,379)
～営業活動により増加した純キャッシュへの調整～		利益1兆1913億円
減価償却費		(+390,693)
(資産及び負債の純増減)		減価償却 3906億円
受取手形+売掛金	(▲37,779)	
棚卸資産	(▲57,007)	
支払手形+買掛金		(+211,939)
未払法人税等の増減	投資 4293億円	(+80,165)
映画製作、金融ビジネス投資	(▲429,236)	法人税還付 801億円
小計		(+158,775)
営業活動により調達した純キャッシュ		(+1,350,150)

II 投資活動によるキャッシュフロー

有価証券の購入・売却		(+449,081)
有形固定資産の購入・売却	(▲512,239)	
金融ビジネス投資・その他	(▲1,718,358)	
	金融ビジネス投資 1兆7183億円	
投資活動に使用した純キャッシュ (▲1,781,516)		

I + II フリーキャッシュフロー(純現金収支)

(▲431,366)

III 財務活動によるキャッシュフロー

短期借入金の増減		(+355,536)
長期借入金の増加		(+406,857)
長期借入金の返済	借入返済 981億円	(▲98,134)
配当金他利益処分	配当 612億円	(▲61,288)
預り金の増加・資本等の増減		(+63,996)
新規借入 4068億円		
財務活動に使用した純キャッシュ		(+666,967)

IV 現預金の増減(VI-V)

(+274,625)

2746億円
キャッシュ増加

V 現預金「期首」残高

(+1,512,357)

VI 現預金「期末」残高

(+1,786,982)

H31/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (5,246,612) うち 現預金 1,470,073 売掛金 1,091,242	流動負債 (6,079,815)	当座比率 67.6%	流動比率 86.3%
固定資産 (15,734,974)	固定負債 (10,465,081)	固定長期適合率 105.6%	固定比率 354.7%
	資本 (4,436,690)	自己資本比率 21.1%	
資産合計 20,981,586	負債・資本合計 20,981,586		

R2/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (5,735,145) うち 現預金 1,512,357 売掛金 1,028,793	流動負債 (6,240,443)	当座比率 73.3%	流動比率 91.9%
固定資産 (17,296,431)	固定負債 (12,001,598)	固定長期適合率 103.0%	固定比率 361.1%
	資本 (4,789,535)	自己資本比率 20.8%	
資産合計 23,031,576	負債・資本合計 23,031,576		

支払能力 不安
当座比率77.7% (標準100%) 以上
流動比率92.4% (標準120%) 以上

R3/3月期
貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産 (7,218,744) うち 現預金 1,786,982 売掛金 1,099,300	流動負債 (7,815,424)	当座比率 77.7%	流動比率 92.4%
固定資産 (19,136,096)	固定負債 (12,909,761)	固定長期適合率 103.2%	固定比率 339.9%
	資本 (5,629,655)	自己資本比率 21.4%	
資産合計 26,354,840	負債・資本合計 26,354,840		

財務安定性 やや不安
固定長期適合率 103.2% (標準100%) 以下

健全性 やや不安
自己資本比率21.4% (標準40%) 以上

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (8,665,687)	売上原価 (5,150,750)	変動費比率 59.4%
粗利益 (3,514,937)	固定費 (2,620,702)	固定費比率 30.2%
粗利益率 40.6%	経営負担率 74.6%	人件費 - 経費 - 金利 - 戦略費 -
経常利益売上比率 10.3%	経常利益 (894,235)	
労働分配率 = 0.0%		

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (8,259,885)	売上原価 (4,753,174)	変動費比率 57.5%
粗利益 (3,506,711)	固定費 (2,707,261)	固定費比率 32.8%
粗利益率 42.5%	経営負担率 77.2%	人件費 - 経費 - 金利 - 戦略費 -
経常利益売上比率 9.7%	経常利益 (799,450)	
労働分配率 = 0.0%		

損益計算書

(単位:百万円)

売上高 (8,999,360)	売上原価 (5,072,596)	変動費比率 56.4%
粗利益 (3,926,764)	固定費 (2,734,394)	固定費比率 30.4%
粗利益率 43.6%	経営負担率 69.6%	人件費 - 経費 - 金利 - 戦略費 -
経常利益売上比率 13.2%	経常利益 (1,192,370)	
労働分配率 = 0.0%		

収益力 優良
69.6% (標準90%) 以下

収益効率性 優良
13.2% (標準4~5%) 以上